

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	その他専門店 〔雑貨〕（店	販売量の動き	・販売量が対前年比で100%超となることがある。
	やや良く なっている	一般小売店〔高 級精肉〕（企画 担当）	販売量の動き	・狂牛病の発生が報道されても影響なく売れている。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・接客の仕方次第で客が購買していくケースが多くみ られている。
		百貨店（販売促 進担当）	単価の動き	・客単価が上昇している。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・婦人服は引き続きヤング部門が堅調で、来客数も増 えている。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・客単価の上昇が顕著である。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・青果物の価格安定と牛肉の販売構成比の上昇で、食 料品は今年最高の売上増加を記録している。また、衣 料、日用雑貨も販売量が回復している。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・気温が高いこともあり、エアコンが非常に良く伸び ている。
		スーパー（店 員）	販売量の動き	・来客数、販売量ともに対前年比で103～105%で推 移している。3か月前に比べても良くなっていると実 感している。
		コンビニ（エリ ア担当）	それ以外	・客単価は下げ止まっていないが、全体的な売上前年 比は徐々に回復している。
		コンビニ（エリ ア担当）	それ以外	・売上は前年比で100%割れ状況にあるが、改善しつ ある。
		自動車備品販売 店（経営者）	単価の動き	・低価格帯から中間価格帯に売れ筋が動いており、客 単価も少しずつ上昇している。
		乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・ローン比率が、金額は小さいながら、やや上昇して きている。
		乗用車販売店 （従業員）	来客数の動き	・来客数はかなり増加しており、受注もかなり増加し てきている。
		乗用車販売店 （従業員）	来客数の動き	・底打ち感がある。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・新型車だけでなく、既存車の売上も増加してきてい る。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・新型車を目当てとした客だけでなく、旧型車を目的 とした客も増えている。
		住関連専門店 （店員）	来客数の動き	・客単価は低下しているが、来客数が対前年比で数 パーセント増加しており、カバーできている。
		その他専門店 〔雑貨〕（店	来客数の動き	・客単価は横ばいだが、来客数が対前年比で伸びてい る。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・来客数が少し上向きである。
旅行代理店（経 営者）	来客数の動き	・来客数が増加している。		
タクシー運転手	お客様の様子	・客数はほとんど変わっていない。		
パチンコ店（経 営者）	販売量の動き	・販売単価が上昇している。		
その他住宅投資 の動向を把握で きる者〔室内装 飾業〕（経営 者）	販売量の動き	・現場は忙しく推移している。		
変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	・相変わらず必要な物以外は買ってもらえない。客単 価もやや低い状態である。	
	商店街（代表 者）	お客様の様子	・来客数は前年比で増加しているが、販売金額が上昇 しない。	
	商店街（代表 者）	単価の動き	・この数か月、客が前ほど値引き要求しなくなっ てきており、客単価が底の状態安定している。	
	商店街（代表 者）	単価の動き	・デジタルテレビの売上は好調に推移しているが、他 の商品は相変わらず動きが良くない。	
	商店街（代表 者）	単価の動き	・単価が高い商品を買う人はいるが、全体的にはまだ 良くなってはいない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・スーパーには太刀打ちできず、安い物しか売れない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・母の日は来客数がやや増加したものの、単価が5%ほど低下し、売上は前年とほぼ同様である。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・名古屋周辺にアウトレットモールや新しい観光地ができたためか、週末は客が増えているが、平日は逆に減少しており、プラスマイナスで変わらない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は確実に増加しており、以前と比べて明るさがみえるが、最終的に購買されたものは単価も販売量も変わらない。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	単価の動き	・客単価が下がってきている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク後は夏物の動きが止まっており、客の購買意欲が感じられない。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク以降は来客数が減少し、売上もがた落ちしている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・高額ブランド品は前年並みであるが、主力であるヤングキャリア向けの売上が悪い。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・婦人服を中心に客の購買意欲は堅調で、全体として3か月前と同レベルの売上前年伸び率を確保できている。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・以前と変わらず目的のある客がほとんどであり、目的外的の商品を求める客はほとんどいない。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・土日の購買が増加しているが平日の購買が減少しているため、総じて3か月前と比べても前年と比べてもほぼ同等である。
		スーパー（店長）	単価の動き	・少量商品や小分け商品の動きは良いが、客単価は依然として低迷している。一品単価は低下したままである。 ・中国野菜の残留農薬問題もあり、買い控え傾向もみられる。
		スーパー（店員）	お客様の様子	・客は競争で低価格になっている商品を目当てに、各スーパーを買い回りにしている。
		スーパー（店員）	お客様の様子	・季節物の青果物や魚の売れ行きは良いが、その他は動きが悪く売上は変わらない。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・単価が若干低下しているが、買上点数が少し増えているため、売上を維持している。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・個人経営の小売店舗の廃業が相変わらず目立っている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は昨年同期並みだが、客単価が落ち込んでいるため、売上は相変わらず95%くらいにまで落ちている。
		衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・母の日商戦は、若干の単価上昇はあったものの販売量が伸びず、盛り上がりは欠いていた。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・客はできるだけ安く良い商品を購入し、単価の高いものはあまり売れていない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は増加傾向にあるものの、客単価が上昇していない。
		乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・赤字覚悟で値段を下げている同業者がかなりある。
		乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・新車販売の中心が小型車に移っているため、単価や収益が上がりにくい。
		その他小売〔貴金属〕（経営者）	販売量の動き	・客の購買意欲に多少上向きの様子がみえてきている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・30人以上の宴会が減っており、来客数が減少している。
		高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・内容に比べて価格が低いメニューが伸びているため、売上金額がいま一つ伸び悩んでいる。
		高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・平均単価など、3か月前と比べて変化がない。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク以降、来客数が減少している。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・店が忙しくなったり暇だったり、一定しない。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ファミリーでの利用が落ち込んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宴会件数、レストランの利用ともに、前年よりも増加している。		
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・連休の宿泊は多かったが、研修の減少が著しい。		
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・客の動きは例年並みに戻ってきている。		
		タクシー運転手	来客数の動き	・昨年と同じ売上を維持しようとする、1時間ほど多く働かなくてはいけない。		
		タクシー（営業担当）	来客数の動き	・相変わらず夜間は閑散としているため、客待ちのタクシーが多く、営業時間を延長しているタクシーが多くなっている。		
		通信会社（社員）	販売量の動き	・通信量は郡部においてはまだ少しずつ伸びているが、都市部では伸び悩んでいる。		
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新規契約件数はほとんど変化がない。		
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・高付加価値商品の動きが依然として鈍い。		
		観光名所（案内係）	来客数の動き	・客数は増えているが、お金の使い方が非常に慎重である。		
		テーマパーク（職員）	お客様の様子	・園内で行っているアンケート調査によると、出費に慎重な客が多い。		
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・3月から来場者が前年比プラスに転じている。		
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来客数は若干増加しているが、単価は低下している。		
		パチンコ店（店長）	来客数の動き	・稼働時間はやや上昇しているが、客単価はあまり変化がない。		
		美容室（経営者）	それ以外	・ゴールデンウィーク以降、動きが少なくなっている。		
やや悪くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク以降は客の動きがぱったりと止まっている。		
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・近隣の他地区に観光施設ができたせいか、来客数が減少している。		
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価、客数がやや悪くなっている。		
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・定番の弁当やジュースはまずまずだが、企画商品等のプラスアルファの売上げがない。		
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少、客単価の低下と、厳しい状況が続いている。		
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・対前年比、対前月比でみても、販売量はかなり減少している。		
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・客の動きが悪く、財布のひもも固いため、販売量が落ち込んでいる。		
		その他専門店〔貴金属〕（店長）	単価の動き	・商品の売れ方が二極化しており、高額商品か低額商品しか売れず、一番売りたい価格帯の商品が売れない。		
		その他小売〔総合衣料〕（店員）	お客様の様子	・販売数量の伸び悩みが続いている。		
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・特に夜間の来客数が減少している。		
		スナック（経営者）	来客数の動き	・極端に人通りが少なく来客数も減少しているため、売上が減少している。		
		タクシー運転手	販売量の動き	・ゴールデンウィーク以降、タクシーを利用する人が減っている。		
		タクシー運転手	来客数の動き	・連休前後は金曜日でも特に客が少ない。		
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の来店頻度が減少している。		
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数は少しずつ減少している。		
		美容室（経営者）	来客数の動き	・カット、パーマ、ヘアカラーの周期が延びている。		
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・アパートの空室が目立ってきている。		
		悪くなっている		商店街（代表者）	競争相手の様子	・同業他社が倒産したりと、まだまだ厳しい状況にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔わさび漬〕（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価ともに厳しい。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	お客様の様子	・客は必要な物しか買わず、低価格商品で間に合せている。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・同業者にも、2月以降の売上の低下が目立つ企業が数多くみられる。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が減少し、アルコール飲料やソフトドリンクなどの水物の売上が特に減少している。
		衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・来客数や客単価ともに、前年より悪くなっている。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・持ち家住宅の落ち込みが相変わらず続いている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・1人当たりの来店日数が減少している。
		設計事務所（営業担当）	競争相手の様子	・同業他社の経営内容が良くないという話をいくつか聞くようになってきている。
		住宅販売会社（企画担当）	販売量の動き	・分譲住宅の契約件数が減少している。
		住宅販売会社（業務担当）	お客様の様子	・顧客先に信用不安先が増えている。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともやや増加している。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が下げ止まりつつあったところへ、最近ではIT関連の受注が急速に良くなってきている。
		化学工業（企画担当）	取引先の様子	・輸出の好調さに加えて、狂牛病問題が改善したため、食品加工会社の取引がかなり回復している。
		一般機械器具製造業（販売担当）	取引先の様子	・引き合い数が徐々に増加してきており、受注に結びつきそうな引き合い数も増加している。
	電気機械器具製造業（従業員）	それ以外	・取引先に設備投資を増加させる意欲が感じられる。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・同業他社でも仕事量が増加している。	
	輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・受注単価は相変わらず厳しいが、数量は少しずつ増加してきている。	
	建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新規の大型工事物件はないが、中型工事物件が増え始めてきている。	
	変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・商品の動きに活発さが無い。
食料品製造業（企画担当）		受注価格や販売価格の動き	・販売数量は少し増加傾向にあるが、販売価格は依然として厳しく低下傾向にある。	
鉄鋼業（経営者）		それ以外	・受注量や販売量は回復しているが、先の受注につながる見積りや引き合いが無い。	
非鉄金属製造業（社員）		受注価格や販売価格の動き	・生産動向や引き合いは悪くないが、単価がまだまだ厳しい。	
金属製品製造業（従業員）		取引先の様子	・得意先の業種により違いはあるが、先月と比べ大きな変化はない。	
電気機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・国内販売高は対前年同月比で増加したが、輸出が欧州向けを中心に不振である。	
輸送用機械器具製造業（経理担当）		それ以外	・国内の投資額があまり増えていない。	
輸送業（エリア担当）		取引先の様子	・荷量はやや増加しているが単価が低下しているため、売上増加につながっていない。	
輸送業（エリア担当）		取引先の様子	・在庫量があまり変わっていない。	
金融業（従業員）		取引先の様子	・預金の解約が増加している。	
金融業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量はほぼ横ばいである。		
金融業（企画担当）	取引先の様子	・取引先をみると、受注価格、販売価格ともに厳しい価格を要求されている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・建築業は仕事量が絶対的に少なく、価格競争が激しくなり経営が悪化している。	
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・製品カタログや、チラシの発注件数、印刷枚数等はほとんど変わらないが、見積の時点で値引き要求が多々ある。	
		公認会計士	取引先の様子	・金融機関の融資の仕方が極端に変わったため、資金繰りにとまどっている取引先が増えている。	
		経営コンサルタント	取引先の様子	・土地取引件数の減少が続いている。	
		税理士 税理士	取引先の様子 受注量や販売量の動き	・決算数字が良くない企業が増えつつ多い。 ・ゴールデンウィークの売上が思ったより伸びていない。	
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・客からの注文があっても、納期の延期の要求が多々ある。	
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注件数はあまり落ちていないが、内容が新築から増改築中心になり、発注単価が急激に低下している。	
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・トラックへの積み込み台数が大幅に落ち込んでいる。	
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・チラシの落ち込みが激しく、14%減少している。	
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて売上が約20%減少している。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の注文残がかなり減少している。	
		非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	受注量や販売量の動き	・数量の減少が一段と大きくなっている。	
	雇用関連	良くなっている	-	-	-
		やや良くなっている	アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・自動車関連を中心に、採用者数が増加している。
			求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・全体的に、中途採用企業が増え始めている。
職業安定所（職員）			求人数の動き	・食品製造業や情報サービス業などの新規求人が増加している。	
民間職業紹介機関（エリア担当）			求人数の動き	・求人社数の総量が3か月前より5%伸びている。新規求人を求める企業数も10%伸びている。	
学校〔大学〕（就職担当）			求人数の動き	・特に外食、流通、情報関連や、各業種のメーカーの求人数が顕著に増加している。	
変わらない		人材派遣会社（支社長）	周辺企業の様子	・企業の活発な動きが感じられない。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新規求人は対前年比で半分以下であり、依然として上向き傾向がみられない。	
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・変化がみられず、横ばい状況にある。	
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・派遣料金の値下げ要求や各部門の予定人員の削減などがみられるが、目立った変化は減ってきている。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・悪化傾向が少し穏やかになっている。	
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・求職者数の増加傾向が続いている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・主要産業である大手輸送用機械製造業の海外シフトの影響で、体力のない中小企業や下請事業所の閉鎖、求人減少が続いている。	
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・人件費削減のため、相変わらず早期退職希望者の募集や業務部門のアウトソーシング化等が多く実施されている。	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数、有効求人倍率ともに、減少、低下が続いている。	
	職業安定所（管理部門担当）	求人数の動き	・新規求人数が減少傾向にある。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・新規で派遣社員を利用する企業が減少している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員） 新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子 求人数の動き	・契約社員や派遣社員の契約を打ち切る企業が多くなっている。 ・5月の求人広告の申込は対前年同月比で71.1%で3か月前と比べて5ポイント程度低下している。
	悪くなっている	-	-	-